

# 普天間飛行場のこと

## 宜野湾市にある大きな飛行場について！！

宜野湾市には、**普天間飛行場**という大きな**米軍施設**があり、宜野湾市の約4分の1の大きさです。宜野湾市の小学校の平均面積で換算すると・・・約230個分になります！

戦前は人々が暮らしている集落がありましたが、戦後、米軍によって飛行場として整備されました。普天間飛行場は将来、返還が予定されており、**新しいまちづくり**に向けて話し合いが行われています。



## 普天間飛行場の歴史的経緯

- 1945年4月 太平洋戦争時、米軍の沖縄上陸により、沖縄戦開始。
- 6月頃 米軍に土地を接收され、本土決戦に備えて普天間飛行場建設開始。
- 6月23日 沖縄戦での組織的戦闘が終了。
- 1962年 米軍が基地のフェンスを設置開始。
- 1972年5月15日 沖縄が本土に復帰。
- 1978年 ハンビー飛行場の返還に伴い、その基地機能が普天間基地へ移され、現在のような運用形態へ。



## 普天間飛行場の

# 今

世界で最も危険と言われる飛行場…

比べてみよう！



戦前に人々が暮らしていた頃…

## 普天間飛行場の

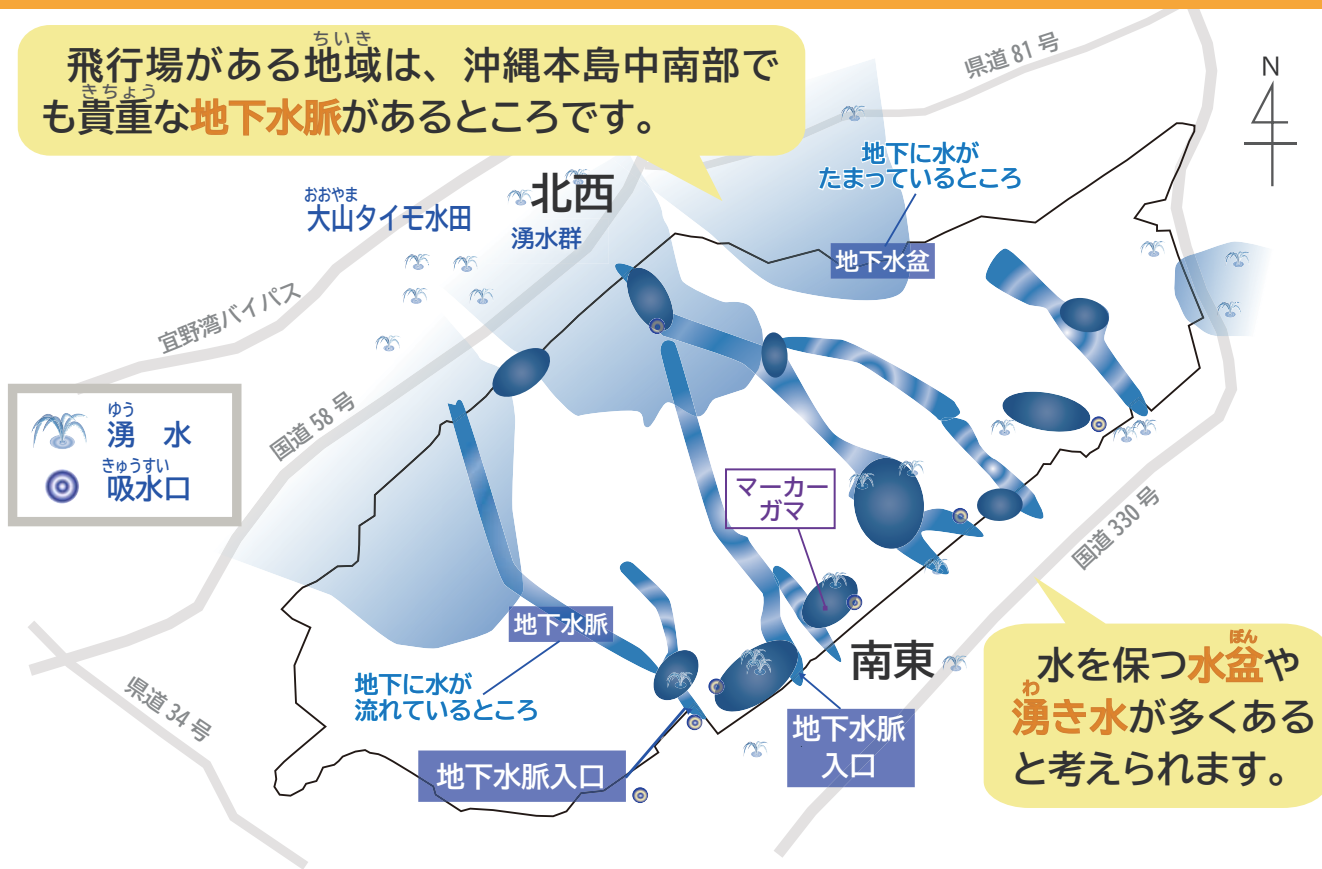
# 昔

1945年 沖縄県公文書館 提供

# 飛行場はどんな場所？（地下水）

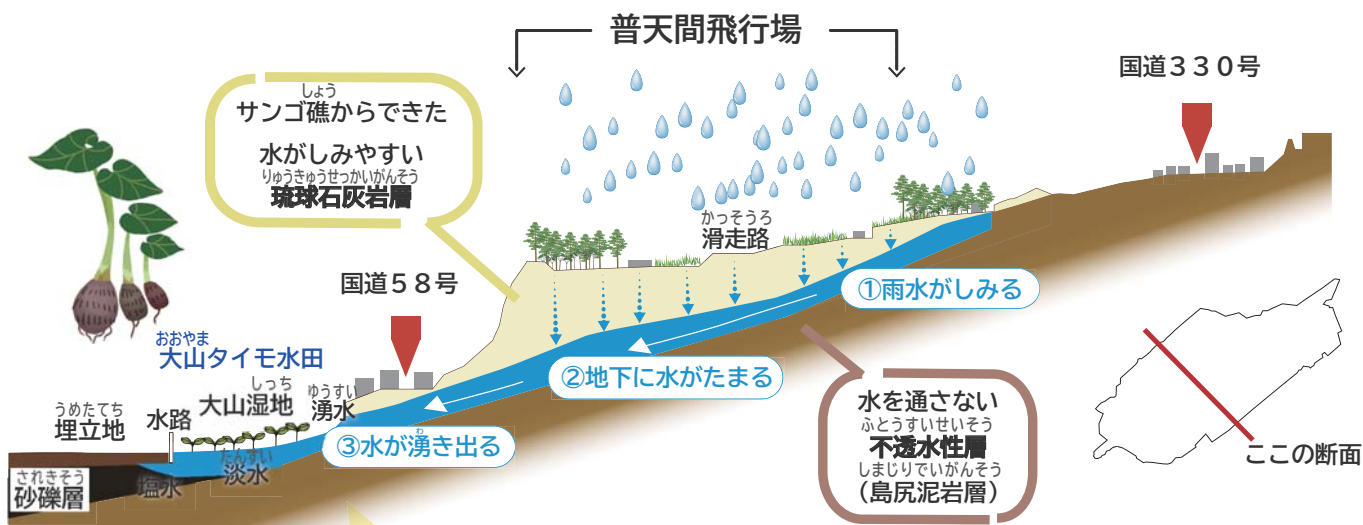
## 地下には水の流れがある！？

飛行場がある地域は、沖縄本島中南部でも貴重な**地下水脈**があるとこです。



水を保つ**水盆**や**湧き水**が多くあると考えられます。

## 西側の豊富な湧水はここから流れてきたの！？



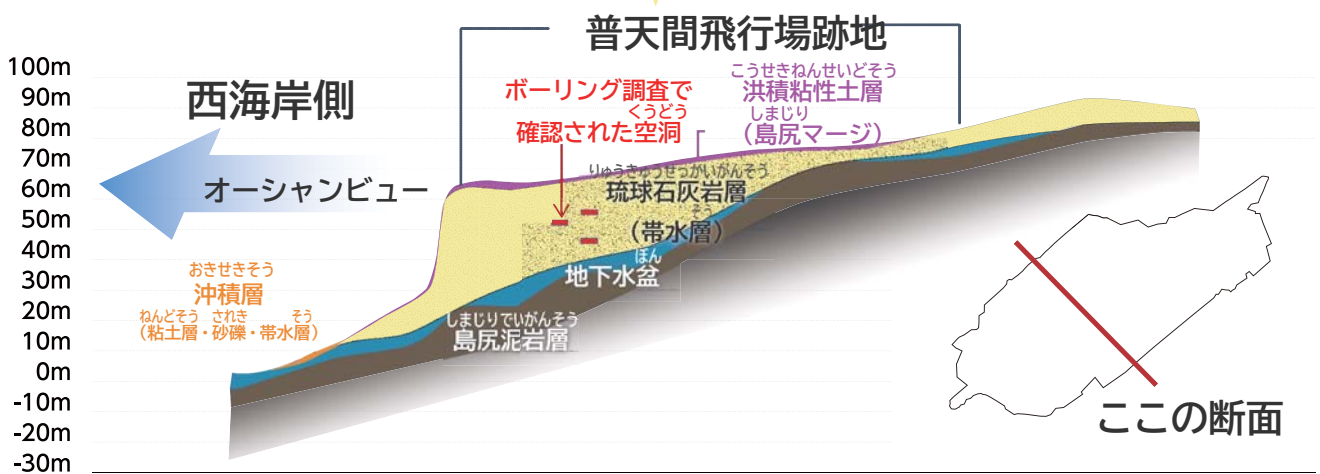
雨水が**琉球石灰岩層**でろ過され、地下を流れて**大山タイモ水田**で湧き出すと考えられます。

# 飛行場はどんな場所？（地形・自然）

## ・ サンゴ礁からできた琉球石灰岩層が地形を作った!？ ・

飛行場の西側一帯は、急勾配の斜面となっており、この高低差が西側の眺望の良さを作りだしています。

サンゴ礁からできた琉球石灰岩層は西側にいくほど厚くなっていると考えられます。厚いところでは固い地盤の島尻泥岩層まで30～40m程あると考えられており、この層の中には洞穴があると推測されます。



## ・ 手つかずの自然が残っている!？ ・

南東側と北西側に豊かな植生が残っており、貴重な動植物の生育の可能性があると考えられます。



西側の連続した緑地や地下水脈の入口の湧き水が多く見られる南東側の緑地は、この地特有の生態系のつながりや地下水保全においても重要と考えられます。



# 飛行場はどんな場所？（歴史）

## 昔の名残りがここにある！？

### ①伊佐上原遺跡群

いさういーばる ぐん

### ③新城古集落

あらぐすくこしゅうらく

### ④野嵩タマタ原遺跡

のだけ ばる

### ⑤新城シマヌカー古湧泉

あらぐすく こゆうせん

### ⑧神山後原ウシナー跡

かみやま しばる



### ⑩神山テラガマ洞穴遺跡

かみやま どうけつ



### ⑫宜野湾メヌカー古湧泉

ぎのわん こゆうせん



### ②上原濡原遺跡

うへはらぬーりばる



### ⑥赤道渡呂寒原古墓群

あかみちとろかんばるこぼぐん



### ⑦赤道渡呂寒原屋取古集落

あかみちとろかんばるやどいこしゅうらく



### ⑨神山トウン遺跡

かみやま



### ⑪宜野湾クシヌウタキ遺跡

ぎのわん



普天間飛行場内には、宜野湾集落、神山集落、新城集落の3つの集落がかつて存在していました。

### ①伊佐上原遺跡群

沖縄貝塚時代の約5000年前から戦前までの集落や墓地・畑・道などがきれいに残っています。

### ②上原濡原遺跡

沖縄で最も古い約2800年前の原始的な農耕跡と考えられる遺跡です。

### ③新城古集落

戦前の屋敷林や石垣があり、地中には約300年前の屋敷跡などが残されています。

### ④野嵩タマタ原遺跡

約500年前の農耕跡があります。沖縄の農技術の変遷を知る重要な遺跡です。

### ⑤新城シマヌカー古湧泉

琉球石灰岩台地の斜面地にあるウリカー（降り泉）様式古湧泉です。

### ⑥赤道渡呂寒原古墓群

自然の岩陰をそのまま利用した岩陰墓や素掘りの堀込墓など、色々な形の古墓があります。

### ⑦赤道渡呂寒原屋取古集落

この集落には当時の庶民の生活が知れる沖縄伝統的な土敷跡などが残っています。

### ⑧神山後原ウシナー跡

沖縄の伝統的な娯楽文化である闘牛。現在、県内で唯一戦前の闘牛場跡が保存状態良く残る場所です。

### ⑨神山トウン遺跡

集落の先祖を祭る石の祠が保存状態良く残っており、当時の祭祀を知ることができる重要な遺跡です。

### ⑩神山テラガマ洞穴遺跡

普天間の祭神である女神伝承を伝えるなど、聖地として現在でも信仰の対象です。

### ⑪宜野湾クシヌウタキ遺跡

ウタキ（御嶽）は祖先をまつところ です。

### ⑫宜野湾メヌカー古湧泉

湧き出た水は、飲料水・浴水・洗濯用水の3つの水槽に流れ込み、村民たちの生活には欠かせない場所でした。

### ⑬神山クシヌカー古湧泉

この湧水は生活用水だけでなく、新年の若水・産湯・死者の浴水・はしかの治療にも使われました。

### ⑭宜野湾並松街道

琉球王国時代、首里から普天間宮までの参詣道だったところです。約3,000本の琉球松が植えられ、その美しさから国指定天然記念物に指定されました。現在は残っていません。



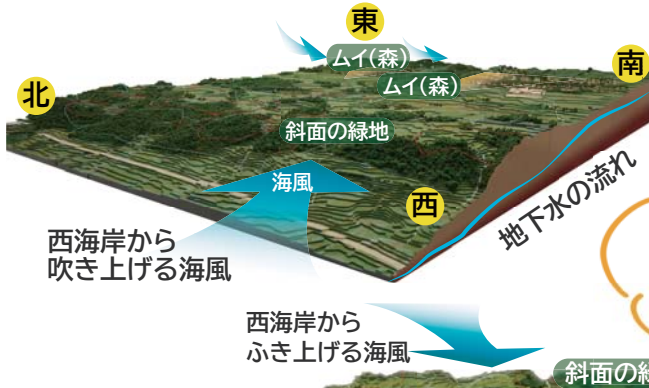
# 飛行場はどんな場所？（集落）

## 地形と緑を活かした集落のひみつ

普天間飛行場となる前の集落の模型を製作し、昔の人たちの生活の知恵を明らかにしました。

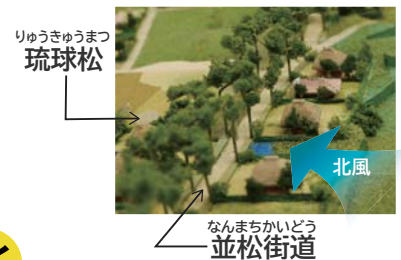
### 西側斜面の緑地

西側の斜面にある緑地は、西海岸から強くふき上げる海風を和らげています。



### 並松街道

並松街道は、普天満宮へお参りに行く道の景色づくりだけでなく、北風を和らげる効果を上げるために琉球松が植えられたと考えられます。



緑地が風から集落や畑を守っていた!?



ムイ（森）とシリガーラの斜面にある緑地は、東北東からふく風から、それぞれの集落を守っていました。

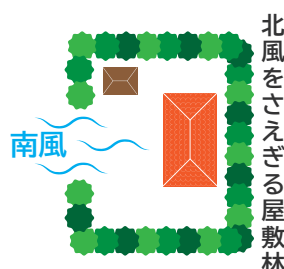
### 農地を風から守る緑地

まとまった緑地やついたてのように木が植えられたところは、農地を北風から守るためと考えられます。



### 家の向きと屋敷林

集落の屋敷は、そのほとんどが南側から入る づくりでした。北側には屋敷林があり、冬は冷たく強い北風をさえぎり、夏は涼しい南風を取りこんでいました。屋敷林の他にも、石がきの屋敷囲いや、土塀の上に屋敷林を植えていた家も多くありました。



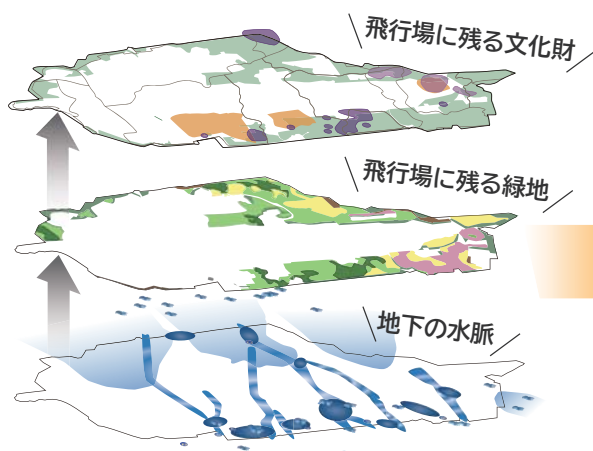
# 未来のまちの計画図

世界に誇れる優れた環境の創造  
 ～みどり（歴史・緑・地形・水）の中のまちづくり～

現在、普天間飛行場の跡地に、新しいまちをつくるために話し合いが行われているところです。未来のまちの計画について、くわしく紹介します！

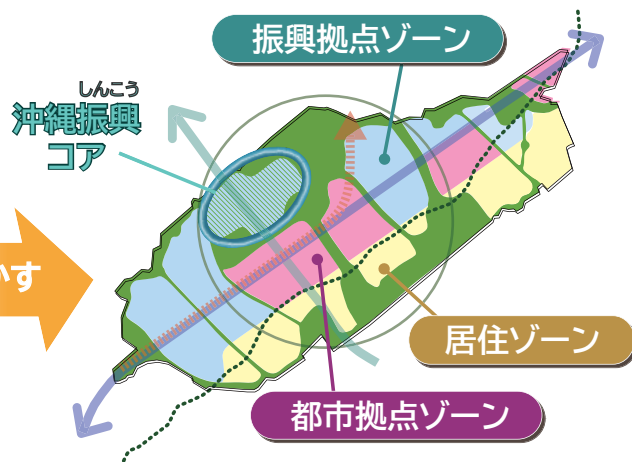
## まちのゾーニング計画

跡地の歴史・緑・地形・水の要素



活かす

住む人・働く人・訪れる人の多様性を受け入れ、都市の活力をうみだし、環境の豊かさが持続する世界に誇れる環境づくりをめざしています。



## 緑地空間計画

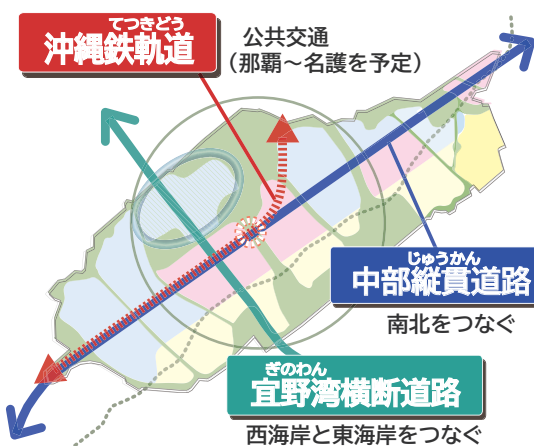
今ある緑地を活かし、新しい緑地も増やして、跡地全体をみどりの中のまちにする計画です。緑地と都市がひとつになった大規模公園エリアがまちの中心に配置されています。

※公共として確保する緑地空間のほか、民有地でも緑地を確保し、跡地全体で緑をつくりだします。



## 交通網計画

飛行場で分断されていた交通をつなぎ、東西南北にスムーズに移動できる道路をつくる計画です。鉄軌道を含む新たな公共交通も計画されています。





# 未来のまちのイメージ

## 都市拠点ゾーン

「都市拠点ゾーン」は、交通の乗り換え拠点<sup>か</sup>があったり、お店や飲食店などの人が集まる施設<sup>しせつ</sup>、市民のための施設<sup>みりよくてき</sup>があります。まちの中心地として、魅力的で便利な場所をイメージしています。



はたらく場所と住む場所が **いっしょ** 一緒になっている便利なまち

新しい交通が通り、人々が集まってにぎわいがあふれるまち



誰もが思い思い  
に楽しめる広場

昼も夜もいつでも  
楽しめるまち



おしゃれな **じゅうたく**  
マンションや住宅



# 未来のまちのイメージ

## 振興拠点ゾーン

「振興拠点ゾーン」は、とっても大きな公園がある自然豊かな場所です。緑に囲まれるまちなかには、最先端の研究所や企業が集まり、ビジネスと交流が活発に行われているイメージです。

最先端の研究



研究者たちの交流の場



新しい価値を生み出す場所  
「沖縄振興コア」



研究やビジネスの  
交流の場



世界の先端研究が行われる



ひらめきを生む  
開放的な広場



# 未来のまちのイメージ

## 居住ゾーン

「居住ゾーン」は、豊かな緑のなかに住宅地が広がっています。地域の歴史的な場所や文化財が大切に保存されていて、美しい松の並木道が市民のいこいの場をつないでいます。

### 緑豊かなゆとりある居住環境



### 地域の人が集まる交流施設



### 居心地のよい公園



### 伝統行事で 深める 地域のきずな



### なんまちかいどう 並松街道を再生



### いさん 歴史・文化遺産を身近に感じてもらう場



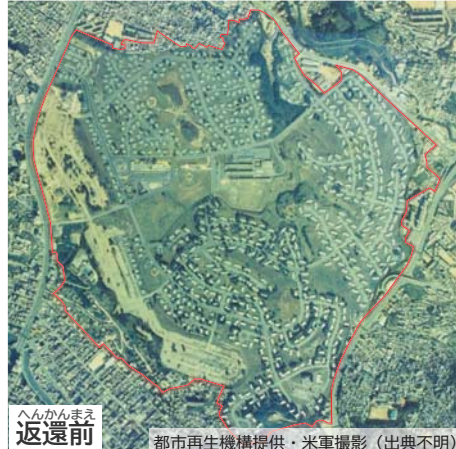


# 基地がまちになった例

・ みんなが知っている場所は、昔は基地だった！？ ・

## なほ 1987年 那覇新都心地区

戦後、米軍住宅地として使用されてきましたが、1987年に全面返還され、土地区画整理事業が実施されました。県立博物館・美術館、公共施設、大型ショッピングセンター、住宅施設が多数建設され、那覇市の活気あふれる場所となりました。



## おろかなぐすく 1986年 小禄金城地区

戦前は農地が広がっていましたが、戦後に那覇飛行場の補助施設として使用されました。1965年から十数回にわたる返還を経て、1986年に全面返還となりました。1983年から土地区画整理事業が実施され、14年かけて現在のまちができました。

